

Hospital News

FREE MAGAZINE

KYOTO UNIVERSITY HOSPITAL NEWS

京大病院広報

vol. 121・122

合併号

募集
Recruitment

看護師

未来を担う看護師になる
<http://kuhp-kango.jp/>



募集
Recruitment

薬剤師

薬のスペシャリストとして
患者さんに寄り添う



募集
Recruitment

病院事務職員

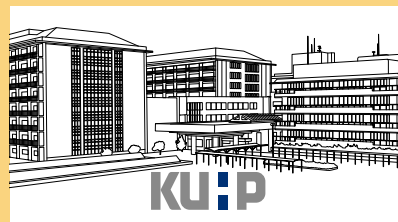
私の仕事の先には
患者さんの安心がある



募集
Recruitment

その他職種

技師・衛生士など、その他
職種も随時募集しています



KU:P 京大病院広報

KYOTO UNIVERSITY HOSPITAL NEWS

【京大病院広報 第121・122合併号】2020年12月発行

発行 京都大学医学部附属病院広報委員会

〒606-8507 京都市左京区聖護院川原町54

www.kuhp.kyoto-u.ac.jp

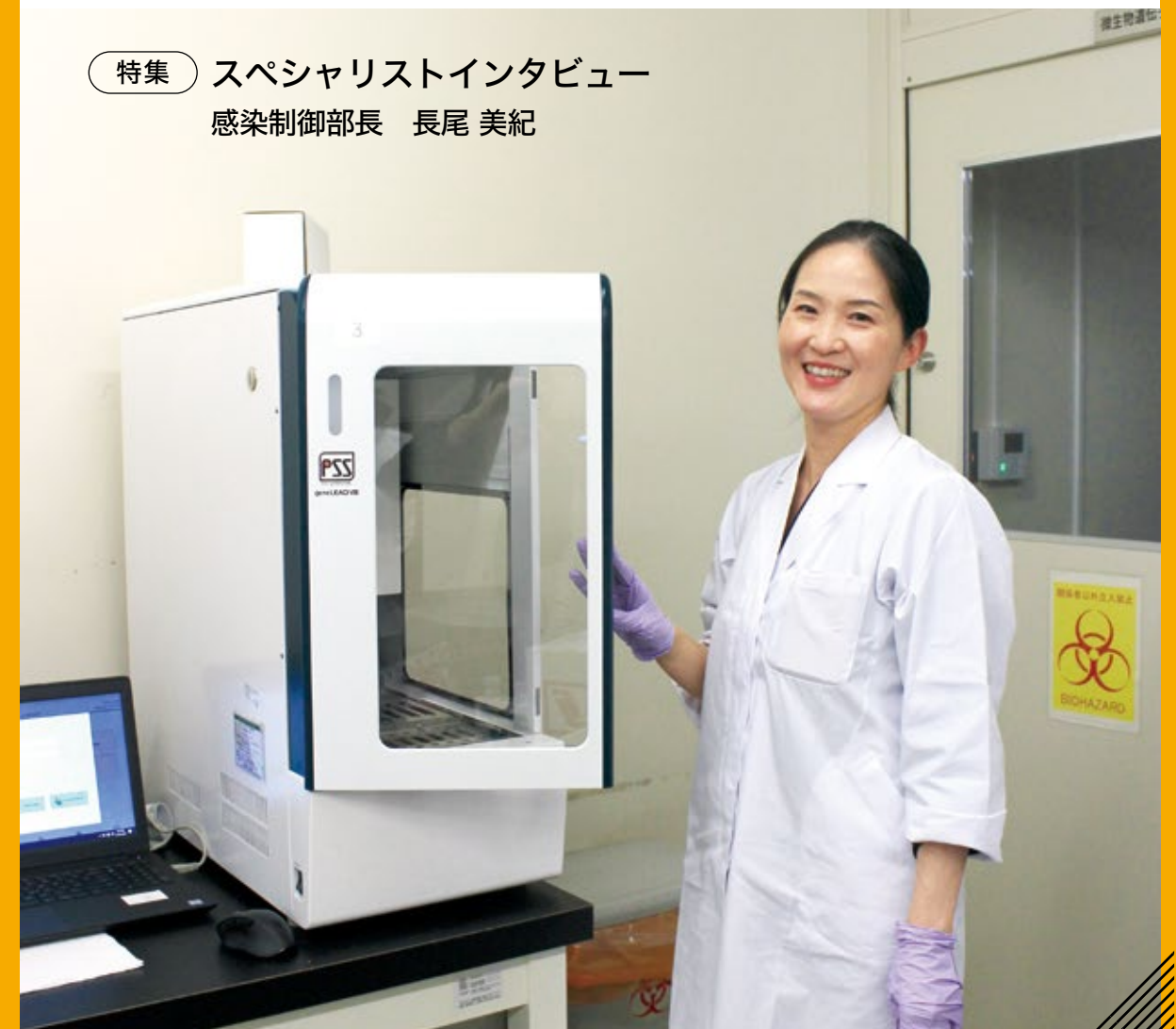
本誌はオンライン会議システムを用いたインタビューや、院内職員による写真撮影など、感染対策をおこなったうえで作成しています。

TOPICS 京大病院のロゴマークが
完成しました!

KU:P

京都大学医学部附属病院
KYOTO UNIVERSITY HOSPITAL

特集 スペシャリストインタビュー
感染制御部長 長尾 美紀



特集 Ki-CONNECT紹介(次世代医療・iPS細胞治療研究センター)

CONTENTS

- 01 | 特集 スペシャリストインタビュー
感染制御部長 長尾 美紀
- 04 | なるほど! なっとく!
この冬、ツインデミックにご用心!?
- 05 | 特集 Ki-CONNECT 紹介
(次世代医療・iPS細胞治療研究センター)
- 07 | 管理栄養士おすすめレシピ
季節の食材 れんこん & たら
- 09 | もっと地域とつながる
Webカンファレンスで新常态の関係づくり
- 11 | キラリ輝く専門看護師
がん看護専門看護師
- 12 | おしえて! 専門外来
呼吸管理・睡眠時無呼吸外来
- 13 | TOPICS
- 14 | ご寄附のお願い

京大病院の基本理念

- ① 患者中心の開かれた病院として、安全で質の高い医療を提供する。
- ② 新しい医療の開発と実践を通して、社会に貢献する。
- ③ 専門家としての責任と使命を自覚し、人間性豊かな医療人を育成する。

感染制御部は、3つの柱で高度先進医療を支えます。

特集

新型コロナウイルス感染症の世界的流行によって感染症への関心が高まっています。

京大病院における感染症対策の最前線である感染制御部の業務を紹介します。

感染症とは、病原性を持つ微生物(病原体)が体に侵入して症状を引き起こす病気全般のことを指します。このたび猛威をふるっている新型コロナウイルス感染症のほか、風邪や食中毒、肺炎、胃腸炎などの身近な病気も、感染症です。病原体としては、インフルエンザウイルスや結核菌などがありますが、ウイルス、細菌、真菌(カビ)、寄生虫など、それぞれの種類で数多くの微生物があり、診断・治療・予防がそれぞれ異なっています。

本院の患者さんの中には、血液疾患の患者さんや大きな手術後の患者さんなど、免疫が低下している方が多くいらっしゃいます。健康な方には感染症を起こさないような微生物も、免疫が低下した患者さんには脅威となりますので、清浄度の高い環境で過ごしていただく、適切な抗菌薬を使用するなど一人ひとりに合わせた対応が必要となります。こうした患者さんをはじめ、京大病院に関わるすべての患者さんを感染から守り、安心して治療に専念いただけるよう陰から支えるのが、私たち感染制御部の仕事です。また、私たちは患者さんのみならず、職員を感染から守るという役割も担っています。

「感染症診療の支援」「院内感染の予防」「新たな検査技術の開発」を3本の柱として、感染症専門医、感染対策看護師、臨床検査技師、薬剤師、事務職員がチームを組み、全診療科・部署と連携を取りながら、京大病院の高度先進医療をしっかりと支えています。



京大病院
感染制御部長 教授
なが お み き
長尾 美紀



感染制御部

第一の柱は、「先進診療を支える」 感染症の診断・治療をサポートします。

感染制御部は、診療科とは異なり感染症外来や感染症病棟を持っていません。これには、各診療科から依頼があった際にいつでも駆け付けて、病院全体の患者さんを見られるようにという思いがあります。

冒頭で紹介したように、感染症は原因となる病原体も多く、特に免疫力が低下した患者さんの感染症は専門医でないと見極めなどが難しいことがあります。私たちは、高度医療を担う医師のための医師“Doctor's Doctor”として存在しています。各診療科からの相談に対して、感染症の診断や、適正な抗菌薬の指導などをおこない、診断・治療の質の向上につな갑니다。

最近では、多くの病院で感染制御部門が立ち上がっていますが、本院のように診療科とは独立して、複数の専従者が配置されている感染制御部がある病院は、まだまだ少ないのが現状です。

我々のような感染の専従職員がいることの利点は、大学病院に求められる高度な感染症対策に専念することができる点にあります。本院の推進する高度先進医療においては、感染症の予防と制御は最優先課題です。多職種が所属する環境で互いに研鑽を積みながら、京大病院全体の感染症対策が盤石となるようにこれからも尽力いたします。

第二の柱は、「感染を予防する」 衛生的な院内環境を徹底して守ります。

感染管理認定看護師を中心に各部門(看護部・検査部・薬剤部・事務部)とのチームを組み、院内の感染防止対策にも徹底した体制で取り組んでいます。

私たちが院内感染対策で最も重要視しているのが、手指衛生(手洗い)です。感染予防策としては、とても単純なのですが、徹底することが一番難しいともいわれています。そこで、実際に病棟や外来での目視確認や、アルコール消毒剤の定期的な使用量調査などを通して現場に状況をフィードバックし、手指衛生遵守率の向上につないでいます。

院内を定期的に巡回し、感染症の治療や病床の管理について担当医や病棟スタッフに適切な情報提供をおこなう、感染症の啓発を目的としたニュースを発行するなどの啓蒙活動もおこなっています。

さらに、病院職員を感染症から守るための対策や、空調や給排水、給食など、患者さんの療養環境を衛生的に管理する院内環境整備などにも万全を期しています。

また、地域連携や薬剤耐性菌研究会などを通じて、関連施設の感染対策担当者とネットワークを作り、地域の感染対策の質の向上にも取り組んでいます。

第三の柱は、「臨床検査診断技術の開発」

たゆまぬ研究・開発を通じて、
社会に貢献します。

京大病院の感染制御部の大きな特色として、未来を見据え、検査技術の開発に取り組んでいる点があります。実は、感染制御部に所属する医師は全員、感染症専門医である一方で臨床検査の専門医であり、検査部にも所属しています。このように感染制御部と検査部が密に連携することで、本当に役に立つ精度の高い検査技術を開発しています。

たとえば世界的なパンデミックとなった新型コロナウイルス感染症ですが、その感染を調べるPCR検査を一つの例にとっても、試薬や機器を製造するメーカーは世界中に山のようにあり、たくさんの製品が出回っています。その中で、どの機器や試薬がよく、どのような検査方法が一番適しているかを見極めるのが臨床検査学です。



様々な機器や試薬を横並びにして比較検討できるのは、大学病院の強みです。現在、私たちが最優先課題として取り組んでいるのが、新型コロナウイルス感染症の最適な検査法です。偽陽性、偽陰性を減らす、精度の高い検査の方法を企業の方々と一緒に探究しています。

京都府や民間企業からの多大なご厚意に支えられて、最新の検査機器の導入もかない、京大病院の検査体制を盤石にすることができています。

日本では、PCR検査の遅れがずいぶん取り沙汰されてきました。新型コロナウイルス感染症が拡大した当初は、もともと諸外国に比べて後進気味だったところに加えて、物流が

止まり、外国からの機器や試薬の入手が困難になりました。そこで、本院では国産のPCR自動化装置の導入を積極的に進めています。今後の新興感染症に備えるためにも、運用の実績を重ね、他の医療機関でも使っていただけるように取り組んでいます。

最新の成果としては、大阪府やiPS細胞研究所と連携して、京大の関連病院と大阪府下の病院20施設ほどで新型コロナ感染症の検査ネットワークを構築しました。報道などで日々の感染者数が発表されますが、感染の広がりやどれくらいであるのかは、母数が分からなければ不明確です。そこで、総検査数とそのうち何名が陽性かという陽性率を大規模に調査し、その結果は臨床病態検査学教室のホームページを通じてもご覧いただけます。

2000年代に入り、SARS、MERS、新型インフルエンザ、そして今回の新型コロナウイルスと、わずか20年の間に4つも大きな感染症が現れました。グローバル社会になり、また、動物と人間の距離が近くなった社会では、今後もどのような病原体が出現するか分かりません。京大病院では、未知の病原体が現れても検査ができるよう汎用機も導入して、将来的なパンデミックにも備えています。常に気を引き締めて、感染対策に臨むのが我々の使命です。

最後に、病気は感染症だけではありません。今回のコロナ禍で感染を恐れるあまり病院の受診を控えてしまい、ほかの病気が見逃されるようなことはあってはならないと思っています。京大病院では、新型コロナウイルス感染症も、高度先進医療も両輪で対応し、最大限通常の医療を維持する方針を出しています。我々は感染制御の面から、患者さん、そして地域の皆さんすべての方の安全を万全に支えていけるよう懸命に努力を続けたいと考えています。



①微生物同定システム ②検査部の様子 ③顕微鏡を用いての検体観察 ④全自動PCRシステム ⑤培養検査による病原体の特定 ⑥顕微鏡を用いての検体観察 ⑦全自動リアルタイムPCRシステム



なるほど! なっとく!

この冬、ツインデミックにご用心!?



毎年、寒さが本格化するとインフルエンザが流行します。
今年は新型コロナウイルス感染症もあって、どう対応すればよいでしょう?
感染制御部の長尾美紀先生に気をつける点を聞きました。

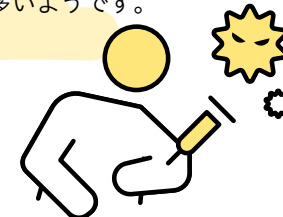


症状がよく似ているのでご注意

新型コロナウイルス感染症とインフルエンザは、どちらも呼吸器感染症であり、症状がよく似ているため、2つの感染症を症状から区別するのは難しいです。発熱、咳、倦怠感、どちらにも共通して見られます。飛沫感染するところ、基礎疾患がある場合には重症化するところも似ています。

潜伏期間はインフルエンザの方が1~4日と短く、新型コロナウイルス感染症は1~14日で5日間くらいの発症がもっとも多いようです。

いずれにしても感染予防策は同じです。忘れずにしっかりとこないましょう。

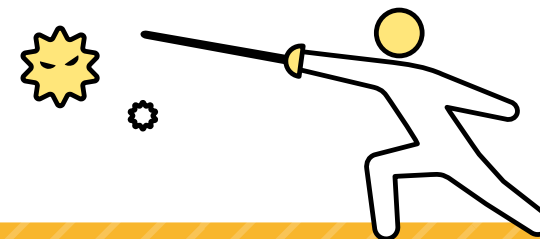


過度に恐れ過ぎないことも大切

感染を恐れるあまり、神経質になり過ぎるのもストレスになってしまいます。

普段の生活において、日常生活を送るぶんには、家中あちこちをアルコール消毒する必要は、まずありません。掃除をする場合には、まずは汚れを落とすことが重要です。特に新型コロナウイルス感染症の場合は、アルコールや次亜塩素酸以外にも、中性洗剤なども有効であることが分かっています。

当初は、未知のウイルスということで過度の恐怖心を抱かれたと思います。しかし、今は感染経路や感染力が分かっています。必要なときにきちんと消毒や掃除をおこなうことを心がけましょう。



「もしや?」と思ったときには

体調がすぐれないときには決して無理をせず、仕事や学校はすぐに休むようにしましょう。そして、ご自宅でも水分をとって安静にしてください。会食なども控えてください。

また、休んだ人に対しては「お互いさま」という気持ちで接しましょう。無理をして動くことで、感染を広げることもあります。休む人を責めたりしない社会が、結果として感染症の収束につながります。

「お互いさま」の心でお互いをいたわりあう、優しい気持ちが必要です。



予防のために心がけたいこと

私たち専門家も院内感染対策で最も重要視していることですが、感染を予防するのに何より大事なのは「手洗い」です。日常生活においても、帰宅時やトイレを使用した後はもちろんのこと、外出先で多くの人と共有するものを触った場合には手を洗いましょう。

そして、「密」を避けることも肝心です。どうしても密な状況になる場合は、マスクをして飛沫感染を防ぎ、「うつらない」「うつさない」を心がけましょう。

年末年始には、人と集う機会やお誘いも増えるかと思いますが、しかしながら、当面は大人数での宴会やパーティは避けた方が安心かと思います。どうしても…という場合は、Webツールを使っておこなうなど、工夫をして楽しんでください。





センター開所式記念撮影2020.4.6

京都から世界へ、そして次の世代へ



世界には、がんなどの命に関わる病気や、治療法のない難病により苦しむ人が依然として多くいます。同時に、家族や友人とともに過ごす時間を失う方、そして大切な人を失い、悲しくつらい思いをする方が後を絶ちません。

一方で、世界の医薬品市場では、多くの研究者の労力と莫大な費用と時間が開発に注がれていますが、薬の種(シーズ)が最終的に新薬として世の中に出る確率はわずか2万5千分の1程度といわれています。

そのような中であって、京都大学はiPS細胞等を用いた再生医療技術やがん免疫治療をはじめとした基礎医学の研究領域で、世界でも有数の成果と実績を有しています。京都大学医学部附属病院では、鋭い科学の目と高度な医療技術により、これらの素晴らしい研究成果を迅速かつ効率的に臨床現場に届けてきました。

Ki-CONNECT(次世代医療・iPS細胞治療研究センター)は、がん、難病、希少疾患やiPS細胞治療に重点を置き、先端的かつ

独創的な臨床開発(新たな治療を生み出す研究)を実施する早期臨床試験専用の病棟(30床)として2020年4月に開所しました。

Ki-CONNECTでは、早期臨床試験の経験が豊富な専任の医師をはじめ、臨床試験に精通した薬剤師、看護師、臨床検査技師、臨床研究コーディネーター、契約担当スタッフに加えて、臨床開発に必要な血液や組織等の患者さん由来の生体試料を専任で管理するスタッフが配置され、患者さんの同意と協力のもと効率的な研究ができる実施体制が整備されています。

また、新規に設置された診療科(早期医療開発科)が院内の各診療科や部門とスムーズに連携することにより、多くの疾患領域での臨床開発を可能とするとともに、救急部や隣接するICU、CCUとも連携し、しっかりとした安全管理体制を確保しています。

Ki-CONNECTは、これらの体制のもと、新しい治療を待つ患者さん、その種を見つけ出す研究者、そして開発する企業を結びつけること(CONNECT)により、新しい医療を生み出し、いま病に苦しんでいる患者さんを救うだけでなく、未来の医療にも貢献してまいります。

センター長 武藤 学



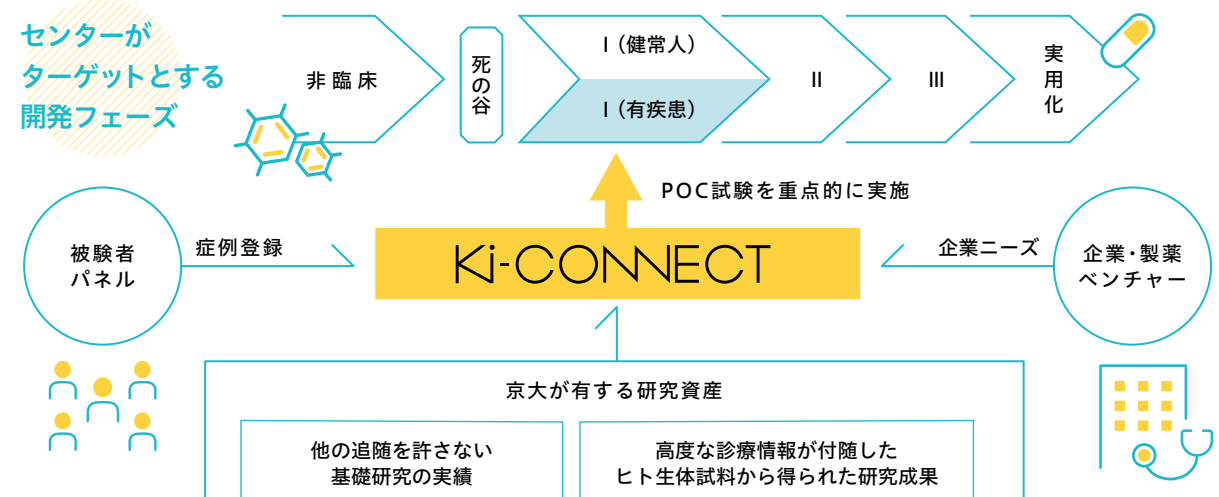
①病室(個室)
②生体試料処理室(クリニカルバイオリソースセンター)
③救急シミュレーションの模様
④ ラウンジ(被験者休憩室)

高品質な生体試料を収集・保管するクリニカルバイオリソースセンターを併設する治験専用病棟と専任のメディカルスタッフによる全面的サポートのもと、先進的な早期臨床試験を実施し、医療開発を成功に導きます。



京都大学だからこそ可能な先端的かつ独創的な試験を重点的に実施

- がんや難治性疾患等の領域を対象とした第I相試験
- iPS細胞を用いた疾患領域の第I相試験
- 健康人を対象とした第I相試験
- 概念実証 (Proof of Concept, POC) 試験など



れんこん

旬のおいしさ

甘みが増す冬のれんこん。
シャキッ、ホクッを召し上がれ



れんこんのサラダ 2人分

材料
れんこん……………40g [A] 醤油・酢・みりん・酒 ……各小さじ1
(皮をむいて薄く輪切り)
ブロッコリー(小房に分ける) ……80g
[B] わさび(チューブ) ……小さじ1/4

- ①れんこんを熱湯に30秒ほどつけ、ザルにあげる。
- ②ブロッコリーは熱湯でゆで、水を切って冷ます。
- ③[A]を混ぜてドレッシングを作る。
- ④器に盛り付け、ドレッシングをかける。

ポイント ブロッコリーを菜の花やにんじんにしても美味しく食べられます。
ドレッシングは市販のものでも代用可能です。

れんこんや
にんじんを太く切り、
グロッとした食感を
楽しんでも！



エネルギー 270kcal
たんぱく質:18.7g
脂質:12.3g
炭水化物:21.1g
食塩相当量:1.6g
カルシウム:178mg

※写真は盛り付け例



京大病院
管理栄養士
おすすめ！

季節の食材



楽しもう

滋味あふれる根菜のれんこんと、
季節の食材を使った簡単レシピを
素材の味を活かした、食べて美味しい

「鱈」と書く通り冬を代表するたら。
本院の管理栄養士がご紹介します。
カラダにうれしいメニューをどうぞ。



〔疾患栄養治療部〕
管理栄養士 井田 めぐみ

抗酸化作用で体を守る働きのあるビタミンC、体内の余分なナトリウムを排泄して高血圧予防に効果のあるカリウムを多く含むれんこん。腸内環境の改善に役立つ食物繊維も豊富です。
ただし、野菜の中では炭水化物を多めに含むため、エネルギー管理が必要な方は、いも類や南瓜など炭水化物の多い野菜と重ねて食べないようにしましょう。



栄養価(1人分)

エネルギー 41kcal
たんぱく質:2.4g
脂質:0.3g
炭水化物:7.5g
食塩相当量:0.5g



ポトフ～ヨーグルト添え～ 2人分

材料
プレーンヨーグルト……………200g 水+下準備でできたホエー ……合わせて400ml
鶏手羽元……………4本 [A] コンソメ(顆粒)……………小さじ1・1/2
塩・黒コショウ……………少々 [B] ローリエ……………1枚
キャベツ……………1/8個 にんにく・乾燥パセリ……………適宜
れんこん……………70g
にんじん……………1/3本 ※皮をむいて適当な大きさに切る
玉ねぎ……………1/2個

- ①(下準備)ヨーグルトはキッチンペーパーを敷いたザルに入れ、冷蔵庫で数時間から一晩水を切る。切った水分(ホエー)も[A]に使うので取っておく。
- ②鶏手羽元に塩・黒コショウをふり、魚焼きグリルでこんがり焼く。
- ③鍋に、②の鶏手羽元、野菜、[A]を入れ、火にかける。沸騰したら弱火で30分程度煮る。
- ④お好みで黒コショウを加え、器に盛り付ける。
- ⑤①の水切りヨーグルトにすりおろしたにんにくとパセリを混ぜ、器に添える。

ポイント ヨーグルトで、たんぱく質やカルシウムなどの栄養素を手軽に増やすことができます。
エネルギーや脂質が気になる方は、「脂質0」と表示のあるヨーグルトを使ったり、鶏肉の部位をもも(皮なし)にするとよいでしょう。



栄養価(1人分)

エネルギー 161kcal
たんぱく質:16.6g
脂質:7.9g
炭水化物:5.4g
食塩相当量:0.9g

冷めてもおいしく
お弁当にも
おすすめの
一品です

ポイント にんにくをマスタードに代えても、また最後にレモン汁をかけても美味しく食べられます。
チーズ入りのパン粉は揚げやすいので、弱火～弱めの中火でじっくり焼くとよいでしょう。

COLUMN

食材目利

れんこん

表面は傷がなくつやつやして、形はふっくら、持つとずっしりと重みのあるものを選びましょう。断面が変色しているものは鮮度が落ちていることがあるので気をつけましょう。



たらの切身

うっすらと透明感があり、しっかりと弾力のあるものが新鮮です。黄色みがかっているものは古くなっているため避けましょう。切身の皮に光沢感があれば鮮度のよい状態です。



たら

たらは、寒くなるほど身が
引き締まって旨みアップ



ハーブパン粉焼き 2人分

材料
真だら……………2切れ
塩・コショウ……………少々
にんにく(すりおろす)……………小さじ1/2
マヨネーズ……………大さじ1
パン粉……………大さじ2
パルメザンチーズ……………大さじ1
乾燥パセリ……………適量
乾燥バジル……………適量
オリーブ油……………小さじ1
ペビーリーフ……………20g
ミニトマト……………4個

POINT

ハーブパン粉作りのコツ！



パン粉、パルメザンチーズ、乾燥パセリ、乾燥バジルをポリ袋でよく混ぜ合わせます。タイムやオレガノなど、お好みのハーブでも代用可能です。

- ①真だらに塩、コショウをして10分ほど置き、水気を軽くふき取る。
- ②にんにくとマヨネーズをよく混ぜ、①の両面に塗る。
- ③[A]を混ぜ、②の両面にまんべんなくつける。
- ④フライパンにオリーブ油を熱し、③を表面に焼き色がつくまで両面焼く。
- ⑤器に盛り付け、付け合わせのペビーリーフ、カットしたミニトマトを添える。

もっと

地域とつながる

Connect with the community

ニューノーマル

Webカンファレンスで新常态の関係づくり

患者さんへ病態に応じた医療を継続して届けるためには地域の医療機関との連携が必須です。

新型コロナウイルス感染症の流行により対面での交流が難しい状況にあっても、

京大病院では、いち早くWebカンファレンスを導入して課題の解消に取り組んでいます。



左から【地域ネットワーク医療部】地域連携掛長 小川 勝也 【地域連携担当病院長補佐】消化器内科長・教授 妹尾 浩 【消化管外科長】准教授 小瀨 和貴

「顔の見える関係づくり」に 新しい扉を開く挑戦を始めています

京大病院は、高度急性期医療を担うのが使命です。そのため、高度な医療を必要とする患者さんを紹介していただく、また、急性期を脱した患者さんを紹介させていただくなど、地域の先生方との密接な連携は欠かすことができません。

医療機能の分担と専門化を進めて、それぞれが円滑な連携を図ることで、患者さんに途切れることなく必要な医療を受けていただく。京大病院では、2000年に地域ネットワーク医療部を設置し、2004年に窓口として地域医療連携室を置くなど、医療連携のための体制を整えてきました。

その一方で、“顔の見える関係づくり”を構築するため、

診療科単位での活動も進めています。コロナ禍以前は、一台の車に医師と地域医療連携室員が同乗し、地域のクリニックや診療所を訪問させていただく“キャラバン”活動を年間20回ほど実施し、紹介患者さんの情報交換や要望のお伺いを対面でおこなってきました。

ところが、今般の事情により物理的な訪問が難しくなり、キャラバン活動も変化を余儀なくされました。改善策をいろいろと検討する中で、消化管外科の小瀨先生たちがWebカンファレンスの取り組みを始め、非常にうまく進んで



地域連携担当病院長補佐
消化器内科長・教授
妹尾 浩

いるとのことで大いに期待しています。

そのほかにも、『地域連携の集い』として医師会を通じた交流会も催しています。顔の見える関係づくりの強化を目指して宮本病院長が始めたもので、次回は2021年4月を予定しています。こちらも感染状況を見ながらにはなりますが、Webカンファレンスの形での開催を検討しています。多くの先生にご参加いただき、有意義なコミュニケーションが図れることを心待ちにしています。

より多くの先生方と、より深い ディスカッションが可能になりました

キャラバン活動は、地域の医療機関との連携に、とても役に立っていました。連携がうまくいくことは、究極の目的である患者さんに資することにもつながります。

そこでコロナ禍においても、いかにして顔の見える関係づくりを継続できるかと思案する中で、当科助教の錦織が

Webカンファレンスを提案してくれました。導入にあたっては、電子カルテの共有をどうするのか、個人情報に対する安全性は担保できるのかなど、乗り越えなければならない問題はありました。それらを乗り越えたうえで、ご紹介いただいた患者さんの返信に案内を封入することで周知を試みたところ、やがてポツポツと依頼が入るようになり、本格的に乗り出したのです。

実際にWebカンファレンスをやってみて、思った以上の手応えを感じています。訪問形式では、時間的にも、人数的にも、やはり制限があります。Webならば、何人でも参加が可能で、互いの都合がよい時間内いっぱいまで話し合えるので、より深いディスカッションができたり、短時間では引き出せなかった要望をお伺いできたりと大きな成果がありました。



資料を共有できるのも試みて分かった利便性です。先日は、編集した手術動画を



消化管外科長
准教授
お ば ま か ず た か
小 瀨 和 貴

ですが、治療内容の情報共有がスムーズで大変好評をいただきました。京大病院の取り組みを、より身近に分かっていただくよい機会になったと思います。

京大病院では、消化管の治療一つとっても消化管外科だけでなく、消化器内科、腫瘍内科、放射線治療科があり、集学的治療が可能です。また、多くの診療科で最新型手術支援ロボットda Vinci Xiを使った外科手術も進んでいます。そうした最新の現場情報も、Webを活用すればもっと地域の先生方と共有できる領域が広がると希望を抱いています。

徹底した院内感染予防の観点から Web会議システムを早期採用しました

京大病院は、全国の病院と比較してもいち早くWebカンファレンスを導入しました。人と人との接触機会をできる限り減らす対策の一環として、Webという手段を早々に採用し、院内会議でも用いるなど全職員が早い段階から慣れていきました。その背景には、第一波の段階から敷かれた厳しい行動方針があります。

多人数が集まる集会は禁止、医局員が一同に集合しておこなう回診は禁止など、院内での徹底した行動制限を行い、感染状況が厳しい時期は旅行や同居家族との外食など、私生活での不要不急の外出も自粛してきました。院内には、重症患者さんや免疫抑制をおこなっている患者さんがいらっしゃいますから、とにかく院内感染を防ごうと最大限の努力をしてきました。おかげさまで、京大病院では院内感染ゼロをずっとキープしており、今も全職員が最大限の努力を続けています。地域の先生方にはぜひ安心して患者さんをご紹介いただけたらと思います。



地域ネットワーク医療部
地域連携掛長
お が わ か つ や
小 川 勝 也

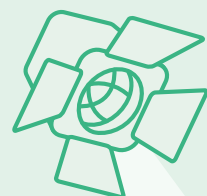
information

地域医療機関へのお知らせ

患者さんをご紹介いただくためのFAX回線を増やし、番号はそのままにつながりやすくなりました



キラリ輝く 専門看護師



Spotlight

がん看護専門看護師



看護部(緩和ケアチーム)

前滝 栄子

看護部(緩和ケアチーム)

杉田 智子

がん看護専門看護師とは

「がん」看護に関するエキスパート。5年以上の実務経験と大学院での単位取得を経て認定試験に合格し、十分な知識とスキルを評価されたスペシャリストです。がん患者さんの身体的・精神的な苦痛を理解した寄り添う看護をおこなうだけでなく、ご家族へのケアや地域と連携した支援などを含めて水準の高い看護を実践します。京大病院では、9名のがん看護専門看護師が活躍しています。

患者さんの生活と ともにある看護を目指して。

杉田：京大病院では、医師、薬剤師、看護師が緩和ケアチームを組んで専門的な緩和ケアをおこなっています。私たちは、そのチームで専任看護師の立場から、診療科の依頼に基づいて横断的に患者さんのケアにあたります。

前滝：緩和ケアとは、からだと心の苦痛を和らげる治療やケアのことです。がんと診断されたときから始まり、がん治療を充実させるためにも大切なケアとなります。また、がん以外の方であっても、心不全などの身体症状に対して関わらせていただくこともあります。

杉田：二人に一人はがんになるといわれる時代。それでも、がん患者さんは告知された瞬間から不安を感じ、治療への逡巡^{しゆんじゆん}や生活の心配、経済的問題、ご家族への想い、生きる意味など様々な想いの狭間で揺れ動かれます。身体的苦痛を和らげるだけでなく、一人の人間としてのトータルの痛みや苦悩に寄り添うのが、がん看護専門看護師の役割です。

前滝：その姿勢は同時に、私たちが培ってきた“ホスピスマインド”（苦痛の緩和と最期まで患者さんに寄り添い続ける）にも共通します。患者さんやご家族の「希望」も「苦しみ」も一緒に受け止め、ともに歩んでいく。常に真摯に向き合います。

杉田：病棟の看護師とも常に連携を取り、一緒に相談しながら一番いいケアの形を目指しています。

前滝：時に、弱気になったり、苦しみや悲しみに押し潰されそうになっておられる患者さんやご家族もいらっしゃいます。たとえそうした状況にあっても、一歩ずつ前に進んでいける「力」をどなたもがもっておられ、私たちは、その可能性を信じています。看護師として出会わせていただき、お話をお聴きしていくと、おひとりおひとりに歩んでこられた人生があり、物語があります。かけがえのないその方の人生に寄り添わせていただけることに感謝しながら、日々看護をさせていただいています。

杉田：突然、病にかかり、不安にかられたり孤独を感じている方がおられるかもしれません。でも、「一人じゃないですよ！私たち、みんながいますから」とお伝えしたい気持ちがいつもあります。患者さんには院外での生活もあることを主体に考え、患者さんだけでなく、周りの方々にとっても、よりよいケアができるよう努めています。



呼吸管理睡眠制御学講座
特定教授

陳 和夫

おしえて！

専門外来

呼吸管理・
睡眠時無呼吸外来

睡眠は人々にとって体と心の休養であり、健康生活を送るために極めて重要と考えられるようになりました。

日本では、「健康日本21(第二次)」の目標として「睡眠による休養を十分とれていない者の割合の減少」を掲げ、その目標値を15%としています。しかし、平成30年の調査で「あまりとれていない」「全くとれていない」と回答した人は23.4%で、平成21年から有意に増加しています。

睡眠障害には60種類以上ありますが、最も頻度が高い障害の一つに、睡眠呼吸障害(SDB)があります。みなさんがよくご存知の睡眠時無呼吸症候群(SAS)もSDBの一つです。

SASの3大要因は「肥満」「男性」「加齢」です。京都大学と滋賀県長浜市における約10,000人の共同研究で、成人男性の約23%、女性の9.5%は中等症以上(1時間に15回以上の無呼吸低呼吸を示す)のSASでした。また、肥満に高血圧または糖尿病を合併していると、その頻度は40~50%となりました。このようにSASは生活習慣病と関わりの深い病気です。

京大病院では中等・重症のSASが疑われる患者さんには、手術中の安全、手術後の順調な回復のためにも大きな手術前にSASのチェックをおこなっています。

保険適用のSASの標準治療はCPAP(シーパップ)療法と口腔内装置(マウスピース)で、CPAPは鼻に装着したマスク

から気道へと空気を送ります。全国ですでに50万人以上が使用し、京大病院でも千数百人の患者さんが使用しています。

京大病院では、外来で簡易モニタリングをおこなうだけでなく、総合内科、呼吸器科、脳神経内科、日本睡眠学会の専門医5名と、日米の睡眠学会の認定資格を持った複数の検査技師が、4床の睡眠検査専用ベッドを用いて、睡眠障害の評価に必須である睡眠ポリグラフ検査や、反復睡眠潜時検査などもおこなっています。これらの検査は、十分な睡眠時間を取っても日中に眠気が強く出るSAS以外の病気の発見にも役立ちます。

京大病院は、京都で唯一の日本睡眠学会認定医療機関(A型)として、地域の先生方の協力もいただいて、子どもから高齢者まで幅広く検査・診断をおこなっています。今後も、より多くの方が健康で「睡眠による休養を十分とれる」ようスタッフ一同努力してまいります。

SASの主な症状と兆候

- 肥満
- 習慣性いびき・無呼吸
- 高血圧・糖尿病などの生活習慣病
- 日中の過度の眠気
- 原因不明の夜間頻尿
- 疲れが取れない睡眠



1

ご支援ありがとうございました

新型コロナウイルス感染症対策に必要不可欠な陰圧室化工事をおこなうため、クラウドファンディングを実施しました。「高度先端医療と感染症対策の両立で、コロナ禍でも多くの命を守る」と銘打ったこのプロジェクトは、1,508名の方々より66,759,000円ものご支援をいただいで終了しました。

皆さまからの温かいご支援に改めて感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



2

ロゴマークが完成しました

京大病院では、これまで京都大学のエンブレムを使用していましたが、公募により独自のロゴマークを制定しました。

患者さんや一般の方などから400件を超える応募をいただき、厳選なる審査の結果、グラフィックデザイナー村上正剛様にご応募いただいた作品に決定しました。



KU:P

京都大学医学部附属病院
KYOTO UNIVERSITY HOSPITAL

「KUHP」は、京大病院(Kyoto University Hospital)の頭文字です。

「H」を白抜きで表現することで、健康時には関わり合いがなくても、病気や事故などで必要とされる時には「H=Hospital(京大病院)」が支えになれるようにとの願いを込めました。

「H」の2つの矩形は、スタッフと患者さんが互いにきちんと向き合う様子を表現しています。

3

HOSPIを導入しました

11月より、病院内自律輸送ロボットHOSPI(ホスピー)を導入しました。HOSPIは、事前に教えた地図情報をもとに、検体サンプルなどを目的地まで搬送するロボットで、国内では7例目の導入となります。前方や横から患者さんが来られた際に自動的に回避できることはもちろん、病院内で安全に自走するための様々な仕組みが搭載されています。

外来棟2階で毎日2台が活躍していますので、ぜひご覧ください。



京大病院基金へのご寄附のお願い

京都大学医学部附属病院は、さらなる患者さんへのサービスの向上、充実した診療環境の提供、新しい医療の推進、医療人の育成等のため「京大病院基金」にて、ご寄附を受け付けております。



A イートインスペース
整備(積貞棟地階)



B 人工腎臓部透析ベッド
映像サービス設置(中央診療棟3F)

2020年度 活用例

A イートインスペース(院内での食事可能な場所)を整備しました。ぜひご活用ください。

B 人工腎臓部の全ベッド21床に、映像サービスを設置しました。患者さんに治療法などに関するビデオをご視聴いただいたり、テレビ視聴にもご使用いただくことができます。

ご寄附への感謝

- 1 寄附者氏名の公表 ご了承いただいた場合のみ、ご芳名をHP・院内掲示板に掲載させていただきます。
- 2 時計台での顕彰 累計100万円以上ご寄附いただいた方の銘板を、京都大学百周年時計台に掲載します。
- 3 感謝の集いへご招待 一定額以上のご寄附をいただいた方を、総長主催の「感謝の集い」へ招待します。

税制上の優遇措置

寄附金には、税制上の優遇措置があります。本学発行の領収証書にて税務署に確定申告が必要です。

- 1 個人のご寄附の場合 ※市民税の控除は条例で指定される場合のみおこなわれます。お住まいの市町村へお問合わせください。
 - 所得税の軽減
(寄附金額 - 2,000円)を課税所得金額から控除
※寄附金額は総所得金額等の40%が限度
 - 住民税の軽減(京都府・大阪府・滋賀県・徳島県・山口県)
(寄附金額 - 2,000円)×控除率を税額から控除
※寄附金額は総所得金額等の30%が限度
控除率…府県民税(4%)、市民税(6%)

2 法人のご寄附の場合

寄附金の全額を損金として算入いただけます。

払込票によるご寄附

院内設置のリーフレット同封の払込票にて、ゆうちょ銀行ほか、提携金融機関にてお振込みいただけます。

Webサイトからのご寄附

京都大学基金HPの申し込み画面よりお手続きください。
クレジットカード、銀行振込、口座引落(年払・月払)ページをお選びいただけます。

ご不明点・ご要望がございましたら、お気軽にお問合わせください。

■ 京大病院基金事務局(病院事務部経営管理課内)
[TEL]075-751-4920 [FAX]075-751-4228 070kuhpfund@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

■ 京都大学基金ホームページ
<http://www.kikin.kyoto-u.ac.jp/contribution/hospital/>

お問合わせ

京大病院基金

